【教育理念】児童の笑顔、教師の笑顔、保護者の笑顔が　魅力ある学校を作る

㋕んどういっぱい　㋔キドキいっぱい　㋗クワクいっぱい　㋖ラキラ輝く　大野木場小学校便り　№.３５
令和７年　８月　９日（土）

かどわきっ子

南島原市立大野木場小学校
校　長　　森田　純弘

戦後８０年

今年の夏は、戦後８０年という節目の夏です。戦争では多くの方が亡くなられました。それは、日本人はもちろんですが、同様に相手国、戦地となった国でも多くの方が亡くなられました。

戦争はしてはなりません。人を傷つけてはなりません。平和な世界を作らなければなりません。当たり前のことですが、どうしてこんなにも叶わないのか。長崎に生まれ、長崎で育つ者にとって、戦争は遠い昔の出来事、遠い国の出来事にしてはなりません。どうすれば平和な世界に近づけるのか。問い続け、考え続けなければなりません。

今日は土曜日でしたが、８月９日に平和集会をすることの大切さを感じ、理解してほしいので登校日にしました。お子様の登校に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。

学校では、この日に向けて学級ごとに平和について考える学習をしたり、「平和への誓い」を立てたりしました。

１年生
ぼくたち　私たちは　友達と仲よくします
いやな言葉を使わず　優しい心を大切にします
みんなが笑顔でいられるようにがんばります
２年生
話し合って相手の気持ちを考えます
ルールを守り　友達と仲よくします
３年生
どんなときも助け合い
いやなことをしないクラスにします
４年生
けんかをしません　人のいやがることをしません
友達を大切にして　みんな仲よし　にこにこ学級を目ざします
５年生
言葉づかいをよくした　けんかや言い争いがへった
毎日が楽しくなった　これから続く　５年生の平和！
６年生
周りの人を大切にするために　よく考えて行動します
平和な世界を祈り続けます

今日の集会では、４年生が１学期に総合的な学習の時間で学んだことや実際に長崎で見学して感じたことをタブレットでまとめたり劇にして発表したりしてくれました。

発表の中で４年生が歌ってくれた「おりづる」もすてきですが、全校で歌った「この時代に」も、とてもすてきな曲なので、お子さんに尋ねてみてください。私は、特に２番の**「人と比べることで　自分を確かめるような　賑やかで寂しいこの時代に僕はどう生きよう」**の部分が、グッと心に刺さります。

「この時代に」　作詞・作曲：中山真理

1. おじいさんは昔　飛行機に乗って
戦いに出かけたよ　何の疑問ももてずに
時が変わっておじいさんは　帰ってきたけれど
たくさんの友達が　命を落としたよ
かわいい絵を散りばめた　飛行機が夢を乗せて
大空を羽ばたくこの時代に　僕は何をしよう
2. おじいさんは言った　偉くなろうとか
認められようなんて　考えない方がいい
愛する大事なもののために　力尽くしたら
何も残らないのが当たり前だから
人と比べることで　自分を確かめるような
賑やかで寂しいこの時代に　僕はどう生きよう
かわいい絵を散りばめた　飛行機が夢を乗せて
大空を羽ばたくこの時代に　僕は何をしよう

９月おもな行事

１日（月）　始業式（給食あり）
２日（火）　短縮授業（～３日）
４日（木）　委員会活動
１１日（木）　代表委員会
１１日（木）～１２日（金）
夏休み作品展【会議室】
１２日（金）　メモリアルデー２０２５
授業参観・学級部会
１５日（月）　普賢岳災害を語り継ぐ日
２０日（土）　親子奉仕作業（8:00～9:30）